

特集展示・トピック展示のご案内

長崎歴史文化博物館では、2階常設展示室の展示替えを定期的に行っております。
是非、ご取材・情報掲載の程、宜しくお願い申し上げます。

特集展示「長崎の魔除け」



特集展示「長崎の魔除け」

会 期：2016年5月17日(火)～7月12日(火)

時 間：8:30～19:00 (最終入館18:30)

会 場：美術展示室

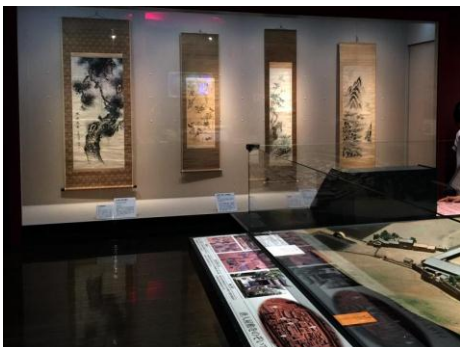
(2階常設展示室 歴史文化展示ゾーン内)

観覧料：大人600円、小中高校生300円

※県内小中学生は無料

関帝(関羽)、鍾馗(しょうき)、桃、蝙蝠(こうもり)等...長崎で生活する中で日常的に見られるモチーフには、中国文化に関わるものが多くあり、それぞれが魔除けや吉祥の意味を持っています。例えば鍾馗は中唐(八世紀)の玄宗皇帝の夢に出現し、小鬼を退治したという伝説の人物。日本では五月の節句に魔除けとして絵画や幡に飾られます。関帝は三国志に登場する関羽のことで、財政管理を行ったことから商業の神様として中国で神格化されました。また、雛人形や住吉神社の夏越(なごし)祭で行われる茅の輪くぐり、疱瘡(ほうそう)除けとしての七夕の短冊といった季節ごとに催される行事や飾り物には、身の穢れを祓い、息災を願うなど、私たちの生活に密着した願い事が込められています。

トピック展示「阿蘭陀通詞と唐通事」



トピック展示「阿蘭陀通詞と唐通事」

展示期間：2016年4月19日(火)～6月19日(日)

時 間：8:30～19:00 (最終入館18:30)

会 場：オランダとの交流・中国との交流コーナー

(2階常設展示室 歴史文化展示ゾーン内)

観 覧 料：大人600円、小中高校生300円

※県内小中学生は無料

江戸時代、貿易都市であった長崎にはオランダ船・唐船に乗り、オランダ人・唐人たちが来航しました。異なる言語を用いる彼らとの交流において、重要な役割を果たしたのが通訳たちです。通訳たちは使用する言語に応じて阿蘭陀通詞、唐通事などに区分されました。本展示では阿蘭陀通詞が職に就いた時に忠誠を誓う文書(起請文)や阿蘭陀通詞の日記、唐通事が言語習得のため使用した辞書(「訳詞長短話」)などから阿蘭陀通詞、唐通事の職務や文化への貢献など、彼らが活躍した様子をご紹介します。

